

キマダラカミキリの採集および目撃記録

新 家 勝

キマダラカミキリ *Pseudaolethes chrysothrix* Bates は、金毛におおわれ、ビロード状の模様を現わした美しいカミキリである。これまで筆者は本種を1頭、採集したのみであったが、1982年には宝塚市およびその近辺でかなりの個体を見かけた。1982年には、本種が多発したように思われるので、報告する。

1. 1963. 6. 13 西宮市日野町、日野神社境内。

初めての採集品であったので、くもの巣にかかった死骸であったにもかかわらず標本化した。ただし、その後の破損が激しかったので、廃棄した。この採集地は、昭和46年3月に県の文化財「天然記念物」に指定され、保護されており、西宮市内での有数の自然林である。

2. 1982. 5. 28 宝塚市武庫川町、宝塚大橋照明燈。

宝塚大橋照明燈で採集した昆虫として記録するため、標本化し、筆者が保存している。

3. 1982. 5. 30 宝塚市武庫川町、宝塚大橋照明燈。

種の確認だけで標本化しなかった。

4. 1982. 6. 3 宝塚市武庫川町、宝塚大橋照明燈。

前述3同様。

5. 1982. 6. 12 大阪府能勢町上杉、三草山中腹。

クヌギの古木樹皮上を歩行中のものを発見した。

6. 1982. 6. 18 猪名川町槻並、三草山中腹。

前述5同様。

7. 1982. 8. 6 宝塚市南口2丁目、宝塚大橋照明燈。

前述3同様。

ミカンヒゲナガゾウムシ神戸市内に産す
(兵庫県甲虫相資料・125)

高 橋 寿 郎

ミカンヒゲナガゾウムシ *Phloeobius alternanus* Wiedemann, 1816 は Bengal 産で記載された種であり (Zool. Mag., 1(3):172, 1816) 日本からは Sharp が Lewis 採集